

# 住宅用火災警報器



## 10年 たらたら 交換しましょう

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。10年を目安に交換しましょう。

設置時期を調べるには？ 火災警報器を設置したとき記入した「設置年月」、

または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

新しい火災警報器に交換したら、本体の側面などに、油性ペンで「設置年月」を記入しましょう。

### 作動確認のしかた

正常なら以下のように鳴ります。



ピーピーピー  
火事です



ピーピーピー  
火事です

ボタンを押しても（ひもを引いても）作動しないときは、  
以下のことが考えられます。



- ▶ 電池は、きちんとセットされているかご確認ください。
- ▶ それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。

また、「電池切れ」や「機器本体の故障」の場合は、速やかに電池や機器本体の交換をお願いします。



お問い合わせ

粕屋南部消防組合消防本部 予防課指導係

092-935-6389 (8:30~17:00)

